

山口県の道路整備計画
「やまぐち未来開拓ロードプラン」
【概要】

■計画策定の趣旨

平成27年3月に新たな県政運営の指針である「元気創出やまぐち！未来開拓チャレンジプラン」を策定したことを契機に、県民の皆様の声や、道路を巡る諸課題に的確に対応し、重点的・計画的に道路の整備・保全を進めていくため、「山口県の道路整備計画」を策定することとしました。

「活力みなぎる山口県」を実現するため、県政の最重要課題である“人口減少問題”の克服をはじめ、近年頻発する“自然災害への対応”、急速に進む“既存施設の老朽化対策”を重要課題に位置づけ、これらの課題解消に資する道路の整備を進めていくための、みちづくりの目標や方針・方策、事業の進め方等に関する基本的な考え方を示しています。

■計画の性格と役割

「やまぐち未来開拓ロードプラン」は、山口県が進める道路の整備や保全の基本的な方針をまとめた計画であり、これからの本県のみちづくりの指針となるものです。

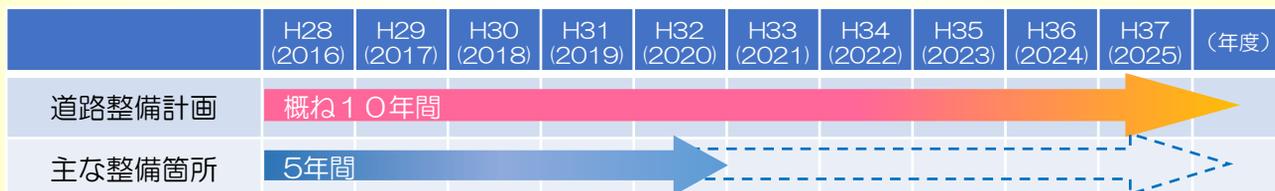
県では、この計画に基づき、厳しい財政状況の中ではありますが、元気な産業や活気ある地域の中で、県民の皆様がはつらつと暮らすことができるよう、重点的・計画的に道路の整備・保全を推進してまいります。

■計画期間

道路は、完成までに長期間を要します。また、完成後も、長寿命化計画等に基づき、将来にわたって適切に保全する必要があります。

このため、道路の整備や保全の基本的な方針をまとめた道路整備計画は、概ね10年後を見据えて策定しています。

また、事業（新設・改良等）の事例を示す「主な整備箇所」は、国の社会資本整備重点計画の計画期間に合わせ、その計画期間を5年間としています。



■上位計画・関連計画

本計画は、国や県の関連計画等との整合を図って策定しています。

○国の関連計画

- 国土のグランドデザイン2050
 - 国土形成計画
 - 社会資本整備重点計画
 - まち・ひと・しごと創生総合戦略
 - 国土強靱化基本計画
- 等

○県の関連計画

- 元気創出やまぐち！未来開拓チャレンジプラン
 - 山口県まち・ひと・しごと創生総合戦略
 - やまぐち産業戦略推進計画
 - 山口県国土強靱化地域計画
- 等

■山口県の特徴

●自然・環境

- ・瀬戸内海沿岸地域、内陸山間地域、日本海沿岸地域の特性を異にする3つの地域

●歴史・文化

- ・豊かな歴史や文化を伝える多数の歴史遺産・文化遺産

●地域

- ・分散型の都市構造、県土の約7割が中山間地域

●産業

- ・豊かで多様な産業



■山口県の現状と課題

●人口減少・少子高齢化

- ・総人口の減少、少子高齢化が進行

●気象

- ・土砂災害発生平均件数（H22～26）は全国で4番目に多く、全国平均に比べ約3倍

●産業

- ・製造品出荷額等は平成22年以降、回復傾向
- ・農林水産業の生産額は低下

●交通特性

- ・移動の手段として、自動車交通に多くを依存

■山口県のみちづくりの現状と課題

●みちづくりの現状

○山口県の道路ネットワーク

- ・県内の道路延長は、約16,600km
- ・県が管理する道路延長は、3,435km

○地域の拠点となる「道の駅」

- ・23の「道の駅」を整備

○歩道の整備状況

- ・これまでに1,342kmの歩道を整備

○通学路の安全対策状況

- ・通学路の緊急合同点検を実施し、対策必要延べ件数の約78%を対策済み

○自転車通行空間の整備

- ・縁石等により分離した自転車道や自転車の通行位置を示した自転車歩行者道を整備
- ・自然公園、名勝等を結ぶ大規模な自転車道3路線を整備

○道路関係予算

- ・平成8年度をピークに減少を続け、平成28年度はその約3割に減少
- ・道路関係予算における維持管理費の割合が増加傾向

●みちづくりの課題

○都市部の慢性的な渋滞

- ・山陽側の都市部では、幹線道路で慢性的な渋滞が発生し、円滑な移動を阻害

○中山間地域の狭隘な生活道路

- ・狭隘で、カーブや勾配が急な道路が多く、日常生活において支障

○災害・異常気象等による通行規制

- ・災害や事故等による通行止めが多く発生し、集落の孤立や大幅な迂回など、その影響は甚大

○交通事故の経年変化

- ・死傷者数は減少傾向にあるものの、高齢者の占める割合は増加、子どもの占める割合は横ばい

○救急・消防活動

- ・幹線道路の渋滞、中山間地域の狭隘で車両のすれ違い困難な区間や線形不良箇所の存在、通行止め等が活動に支障

○道路施設の老朽化

- ・高度経済成長期に集中的に整備された橋梁などの老朽化が進行

■平成27年度県政世論調査

●調査対象

山口県全域において、
20歳以上の男女 3,000人

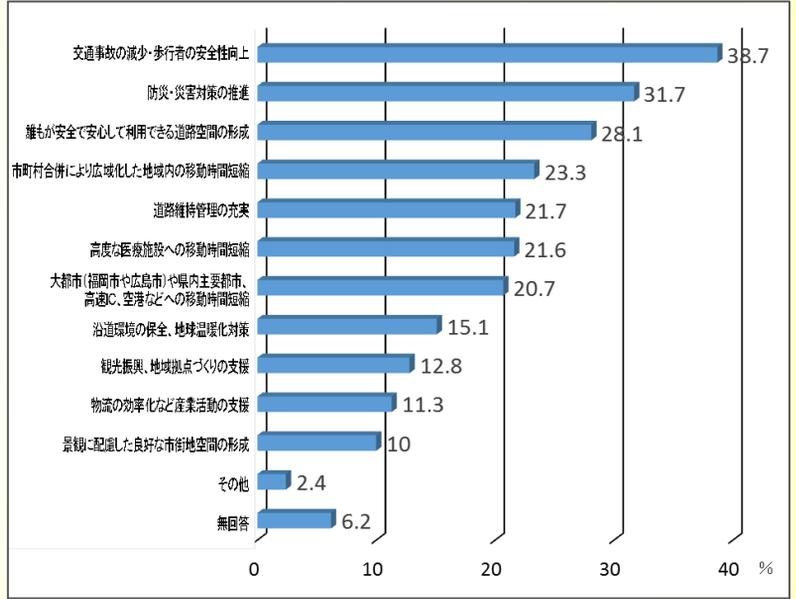
●調査期間

平成27年6月4日～6月22日

●回収率

55.3% (1,658票)

【今後の道路整備に重要なこと】



『今後の道路整備に重要なこと』

では、「**交通事故の減少・歩行者の安全性向上**」が最も高く、次いで、「**防災・災害対策の推進**」、「**誰もが安全で安心して利用できる道路空間の形成**」となっています。

■県民・企業アンケート

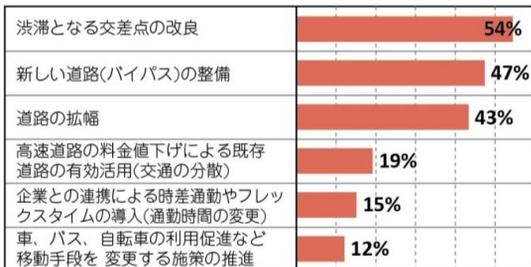
●県民アンケート

- 調査対象 山口県全域において、18歳以上の男女 9,590人
- 調査期間 平成25年5月20日～5月31日
- 回収率 34.2% (3,279票)

渋滞に不満を感じておられる方から、「**渋滞となる交差点の改良**」や「**新しい道路(バイパス)の整備**」を望む声をいただいています。

また、災害時における道路網に不安を感じておられる方から、「**よく使う道路に通行規制がかかり、移動に時間がかかる**」や「**崖くずれなど災害の可能性はある**」という声をいただいています。

渋滞を解消する方法



災害時に不安を感じる要因



●企業アンケート

- 調査対象 山口県内の事業所 779事業所
- 調査期間 平成25年5月20日～6月21日
- 回収率 43.0% (335票)

道路の利便性向上の方策に関しては「**高速道路料金**」や「**都市間を結ぶ一般道路の整備・拡充**」に関する声を多くいただいています。また、主な営業活動範囲、来場者のアクセスなどに関しては「**空港との接続性**」や「**高速道路のインターチェンジとの接続性**」が悪いという声をいただいています。

■山口県の道路整備計画 出前ミーティング

山口県の道路整備計画の策定にあたり、県民の皆様から、山口県の今後のみちづくりについての意見を伺うため、出前ミーティングを開催しました。

出前ミーティングは平成27年8月31日から9月16日まで、県内8箇所で開催し、計188名の方に参加していただきました。



【主な意見】

- 山陰道や地域高規格道路など、規格の高い道路の早期整備が必要。
- 慢性的に渋滞が発生している箇所について、多車線化等の対策が必要。
- 狭隘で大型車も通過する生活道路の改善が必要。
- 障害者が安心して移動できるようなバリアフリー対策が必要。
- 医療施設へのアクセス性を高めるため、スムーズな移動を可能とする道路整備が必要。
- 災害時に救援物資の運搬等をスムーズに行えるような道路整備が必要。
- 老朽化した道路や橋梁の効率的な維持管理が必要。
- 道路のきめ細かい維持管理が必要。

■山口の道づくり意見交換会

地域の課題や利用者ニーズを踏まえた山口県のみちづくりを推進するため、国・県・市町や経済団体等が一堂に会し、道路に関する最新の情報を共有するとともに、それぞれの地域における課題や道路整備・維持管理のあり方等について意見の交換を行いました。

- ・開催日 平成27年11月2日（月）
- ・開催場所 山口市内
- ・参加者 国土交通省、19市町、経済団体等、山口県

【主な意見】

- 都市部には、まだ渋滞箇所が多く、安全確保、物流の効率化等の観点からさらなる道路整備が必要。
- 道路は繋がってこそ効果が発現するもの。国道・県道の一体的な整備が必要。
- 日本海側は交通基盤が脆弱。地域活性化には道路が必要不可欠。
- 道路網の充実・強化を図ることが必要。また、交通安全対策も重要。全ての人が安心して通行できる交通環境の確保が必要。
- 地域格差の是正等のためには高規格幹線道路が必要であり、スピード感を持った取り組みを要望。また、幹線道路の災害危険箇所の防災対策も必要。
- 広域道路ネットワークの形成や、産業力の強化に資する道路の整備が必要。また、適切な維持管理が必要。

■みちづくりの目標と方針

今後急速に進展する『人口減少・少子高齢化』問題の克服を最重要課題に位置づけるとともに、県民生活の基本である安心・安全の確保を図る観点から、近年『頻発する自然災害』や、喫緊の対策が必要とされる『既存施設の老朽化』問題への対応についても、優先的に解決すべき重要課題に位置づけ、『厳しい財政状況』の中、限られた財源を効率的・効果的に活用しながら、これらの課題解消に資する道路整備に重点的に取り組めます。

●重要課題

●人口減少・少子高齢化

- ◆ 人口減少という課題に正面から向き合い、総力を結集して「活力みなぎる山口県」を実現していくために、**地域の強みを活かした産業の振興**を図ることにより、**安定した雇用の場を創出**していくことが必要。
- ◆ 「しごと」と「ひと」の好循環を確立していくために、産業振興によって創出された雇用の場を活かし、若者等の人材の定着・還流を進めるとともに、若者を含む幅広い層を対象にやまぐちへの新たな人の流れを創り出すことが必要。
- ◆ **希望する人が安心して結婚、妊娠・出産、子育てができる環境づくり**を進めていくことも必要。
- ◆ 今後、数十年において本県人口の大幅な減少は避けられないことから、**人口減少社会においても、人々が住み慣れた地域で元気に暮らす**ことができ、新たな人の流れも呼び込めるよう、**将来にわたって維持・発展できる地域づくり**を進めることが必要。

(山口県まち・ひと・しごと総合戦略 H27.10より抜粋)

●頻発する自然災害

- ◆ 近年相次いで大雨等による被害が発生し、また、近い将来、南海トラフ地震の発生も予測され、人命を守り、また、**経済社会への被害が致命的にならず迅速に回復する「強さとしなやかさ」を備えた国土を平時から構築**することが重要。

《そのための方策(道路関係分)》

- 災害を未然に防止する**公共土木施設等(橋梁、堤防等)の計画的な整備**が必要。
- **生活・社会基盤の耐震化**への対応が必要。
- **災害時の輸送・復旧活動等を支える広域道路ネットワークの整備**が必要。
- 関係機関の連携等による**救助・救急体制の整備**が必要。

(山口県国土強靱化地域計画 H28.3より抜粋)

●急速に進む施設の老朽化

- ◆ 公共土木施設等は、**県民生活や経済活動を支える基盤**であり、一定の恒常的な機能の発揮が求められるものである。しかし、本県においても、**施設の老朽化が急速に進行し、今後一斉に更新時期を迎えることから、その適切な対策が喫緊の課題**。
- ◆ このため、中長期的なアセットマネジメントの考え方のもと、**予防保全的な維持管理**を行うこととし、施設ごとに点検結果に基づく長寿命化計画を策定して、**費用の縮減や平準化を図る効率的な維持管理**を推進。
- ◆ 今後は、これらの取組に加え、厳しい財政状況や人口減少、少子高齢化の進展など社会情勢が変化する中での課題を踏まえ、**将来にわたって必要な公共土木施設等の機能を発揮し続けるための取組が必要**。

(山口県土木建築部インフラマネジメント計画 H27.7より抜粋)

●厳しい財政状況

- ◆ 厳しい財政状況の下、「選択と集中」の視点に立ち、重点的・計画的に道路ネットワークの整備を進めることが必要。

●基本目標

やまぐちの未来を拓くみちづくり

～将来にわたって、元気な産業や活気のある地域の中で、県民誰もがはつらつと暮らすことができるやまぐちのみちづくり～

●みちづくりの方針

I 産業・地域を『支える』

産業や地域の振興を支えるため、移動時間の短縮に資する道路ネットワークの整備を推進します。
また、特殊車両通行許可制度の改善等による物流の効率化を推進します。



II 人々のいのちを『守る』

子どもや高齢者等を悲惨な事故から守るため、安全な歩行空間の形成や交差点改良等を推進します。



III 災害に『備える』

地震や大雨などによる自然災害等に備えるため、災害時等にも機能する信頼性の高い道路ネットワークの充実・強化を推進します。



IV 未来に『つなぐ』

県民の財産である道路施設を次世代につなぐため、計画的・効率的な維持管理・更新を推進します。
また、地域の方々の協力もいただきながら、良好な道路環境の確保に努めます。



●人口減少・少子高齢化

●多発する自然災害

●急速に進む施設の老朽化

●厳しい財政状況

○現状と課題

- ▷広域交通拠点*へのアクセス性
- ▷慢性的な渋滞
- ▷中山間地域*の利便性
- ▷通学路の交通安全
- ▷災害時等における信頼性
- ▷救急・消防活動の迅速化
- ▷道路施設の老朽化
- ▷厳しい財政状況

○県民等のニーズ

- ▷地域間連絡道路の整備
- ▷インターチェンジへのアクセス性向上
- ▷渋滞対策
- ▷生活道路の整備
- ▷通学路の安全対策
- ▷高齢者や障害者に配慮した歩道整備
- ▷災害時等における安心・安全の確保
- ▷医療施設までの移動時間短縮
- ▷適切な維持管理

■みちづくりの方策、評価指標

4つのみちづくりの方針に沿って、取り組むべき9つのみちづくりの方策と具体的な取り組み、17の評価指標を設定します。

I 産業・地域を『支える』

産業や地域の振興を支えるため、移動時間の短縮に資する道路ネットワークの整備を推進します。

また、特殊車両通行許可制度の改善等による物流の効率化を推進します。

【みちづくりの方策】

【評価指標】

(現況値) (概ね10年後の目標値)

(1)産業力・観光力の強化を支援します!

- 物流等の迅速化・円滑化
- 特殊車両通行許可制度の改善等
- 観光客の利便性の向上

①インターチェンジ30分圏カバー率(面積) 82% → 85%

(2)暮らしやすいまちづくりを支援します!

- 交流・連携の強化
- 生活の利便性の向上

②空港1時間圏カバー率(面積) 58% → 65%

③物流拠点港湾1時間圏カバー率(面積) 68% → 75%

④新幹線駅30分圏カバー率(面積) 40% → 45%

⑤都市計画道路の整備率 59% → 60%

⑥車両のすれ違いが困難な箇所解消率 78% → 80%

(3)渋滞対策を推進します!

- バイパス整備や交差点改良等による渋滞対策の推進

⑦19市町30分圏カバー率(面積) 59% → 65%

⑧渋滞を緩和させる「主要渋滞箇所」数 4箇所 → 17箇所

II 人々のいのちを『守る』

子どもや高齢者等を悲惨な事故から守るため、安全な歩行空間の形成や交差点改良等を推進します。

【みちづくりの方策】

【評価指標】

(現況値) (概ね10年後の目標値)

(4)安心・安全な交通環境の確保を図ります!

- 生活道路等における交通安全対策の推進
- 全てのひとが安心して移動できる歩行空間の形成

⑨通学路の歩道設置率 70% → 75%

⑩歩行空間のバリアフリー化率 89% → 100%

⑪人身交通事故の発生件数(10万人あたり)(年間) 410件 → 減少に努める

(5)救急活動を支援します!

- 緊急車両の迅速かつ円滑な通行の確保
- 救急医療施設への搬送時間の短縮

⑫3次救急医療機関1時間圏カバー率(面積) 75% → 80%

III 災害に『備える』

地震や大雨などによる自然災害等に備えるため、災害時等にも機能する信頼性の高い道路ネットワークの充実・強化を推進します。

【みちづくりの方策】

【評価指標】

(現況値) (概ね10年後の目標値)

(6)災害時等にも機能する信頼性の高い道路ネットワークを構築します!

- 防災・減災対策の推進
- 広域道路ネットワークの構築や安心・安全な生活道路の整備

⑬国道・県道の整備完了延長 - → 100km

⑭災害時における道路網の安心度 26% → 向上に努める

(7)道路施設の耐震対策を推進します!

- 橋梁の耐震補強

⑮橋梁の耐震補強実施率 25% → 90%

IV 未来に『つなぐ』

県民の財産である道路施設を次世代につなぐため、計画的・効率的な維持管理・更新を推進します。また、地域の方々の協力もいただきながら、良好な道路環境の確保に努めます。

【みちづくりの方策】

【評価指標】

(現況値) (概ね10年後の目標値)

(8)道路施設の長寿命化を推進します!

- 老朽化した道路施設の計画的な修繕・更新等
- 山口県道路メンテナンス会議等を通じた市町支援

⑩長寿命化計画(個別施設計画)の策定数

2計画 → 6計画

(9)適切な維持管理に努めます!

- 日常的な維持管理の充実・効率化
- 異常気象時等の対応
- 地域住民との協働による維持管理

⑪維持管理状況の満足度

44% → 向上に努める

第6章 道路行政の進め方

■効率的で透明性のある事業執行

厳しい財政状況の中で限られた予算を有効に活用し、重点的・計画的にみちづくりを進めていくため、効率的で透明性のある事業執行に努めます。

●効率的な事業執行

効率的な道路整備を進めるため、既存ストックの有効活用や、ソフト施策を含む複数の整備手法の検討、さらには、ローカルルール適用や新技術・新工法の導入等によるコスト縮減に努めるとともに、完成間近な箇所への予算の優先配分や、他の道路管理者との連携等により、整備効果の早期発現・最大化を図ります。

- ◆総合的なコスト削減策の推進
- ◆整備効果の早期発現
- ◆道路管理者間の連携強化
- ◆その他の取組

●透明性のある事業執行

道路整備に関する情報提供や、各段階において事業評価を適切に実施することにより、透明性を確保し、県民の皆様の御理解・御協力を得ながら円滑な事業執行に努めます。

- ◆情報の共有化・評価の明確化

■県民の皆様との協働によるみちづくり

みちづくりには県民の皆様の御理解・御協力が必要です。県民の皆様との信頼関係を構築し、協働のみちづくりを進めます。

- ◆県民の皆様の声の反映
- ◆県民活動の支援
- ◆情報の発信

■技術力の向上・技術の伝承

県民の皆様に快適に安心して道路を利用していただくため、また、“みち”という財産を次世代に『つなぐ』ため、技術力の向上や技術の伝承に努めます。

- ◆技術力の向上・技術の伝承

山口県土木建築部

(お問い合わせ)

山口県土木建築部道路建設課 〒753-8501 山口県山口市滝町1-1
TEL:083-933-3714 E-mail:a18300@pref.yamaguchi.lg.jp